



©hossy nakkie

田能の里芋 アクションプラン

「田能の里芋」を尼崎の希望の光に

2024年3月4日

令和5年度地域団体商標等を活用したブランディング支援事業

田能の里芋のこれまでと課題、2023年度活動の振り返り

これまで

- ・市民中心の活動
- ・生産3団体で田能の里芋の復興・栽培・販売活動、田能地区の歴史文化を伝承する活動を実施。
- ・生産3団体の合同でプロジェクトの機会なし。
- ・コミュニティファームで栽培、需要に対し供給が不足。
- ・メディアへの露出、SNSの効果などにより、認知度は徐々に拡大中。

主な課題

「田能の里芋」の定義がない
団体により栽培方法等も異なる
種芋の正式な分析や管理が必要

関係者間の連携
各団体の活動、商品開発等を連携
アクターズネットワークづくり

持続可能な都市農業の仕組みづくり
農地の確保、生産力向上（機械化等）、収益構造

認知の拡大
尼崎市民なら一度は食べたことがある里芋に！
尼崎→兵庫→全国へ

2023年度の活動

ブランド作りの基礎知識
田能の里芋の定義確立に向けて
ブランドとは何か、地域ブランドとは何かを学ぶ

他地域の事例に学ぶブランドづくり
「みしまコロッケ」
まちおこしと関係者間の連携を学ぶ

都市農業の実例・アグロエコロジー
イタリア等の先進事例に学ぶ

認知拡大のためのPR活動
FoodstyleKANSAIへの出展

「田能の里芋」を尼崎の希望の光に



(わたしたちの存在)

私たちは尼崎の都市農地を再生し、コミュニティの力で「田能の里芋」と「農地」を次世代につなぎ、心豊かな暮らしを実現する

基本方向 1

田能の里芋のブランド化推進

- ①地域団体商標・地理的表示の登録を目指した田能の里芋の価値創造・磨き上げ
- ②市民が主役の生産・流通体制の開拓推進

基本方向 2

田能の里芋がつくる農あるまちづくりの実現

都市農地のモデル地域に！
まちづくりの運動化、発信、
制度化に向けた提言など

田能の里芋のアクションプラン

	項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)
基本方向1	地理的表示又は地域団体商標登録を視野に入れた生産・品質管理の策定 →特徴・定義・出荷基準・種芋の保存・生産地の範囲検討	●	→	
	栽培マニュアルの作成・配布	●		
	ブランド化推進委員会の立ち上げ・定期開催	●	→	
	生産3団体協働イベントの開催	●	→	
	農家による試験的栽培	●		
	農家の本格的な参画		●	→
	一人一株セットの開発と販売	●		
基本方向2	市報での情報発信「田能の里芋と都市農地の価値、効用の重要性」など	●	→	
	「コミュニティファーム」運営の制度化に向けた活動	●	→	

ブランド化推進協議会と都市農地、経済、まちづくりの関係図

